

# 第64回 日本小児保健協会学術集会開催のお知らせ ー第1報ー

第64回 日本小児保健協会学術集会  
会 頭 金子 一成  
(関西医科大学 小児科学講座)

謹啓

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、第64回日本小児保健協会学術集会の会頭を仰せつかり、平成29年(2017年)6月29日(木)～7月1日(土)の3日間、大阪国際会議場で開催する運びとなり、現在、鋭意準備を進めております。本学術集会は医師、看護師、保健師、教員など、子どもの健康や成長・発達、そして医療に係る多職種のプロフェッショナルにより構成される公益社団法人日本小児保健協会が開催するものです。日本小児科学会をはじめとする、その他数多くの学術集会では見られない多職種間の交流や議論を行うことができますので、子どもたちの健康と福祉を支えていくうえで大きな力になっております。

近年、小児医療は劇的に変容しています。2000年以前の小児科医は主に感染症(ロタウイルス感染症、インフルエンザ、細菌性髄膜炎など)の治療を主たる業務としていましたが、予防接種をはじめとする予防医学の進歩、抗インフルエンザ薬を代表とする新薬開発の恩恵と少子化の影響で、感染症に対する脅威は大きく減少しました。一方で、従来、目を向けられなかった小児の医療分野、すなわち発達に障がいをもつ子どもたちへの支援に重心が移ってきました。子どもは社会の希望であり、未来の力です。次代の社会を担う子どもを安心して産み、育てることができる環境を整備し、子どもが健やかに育つことができる社会の実現のためには国民全員の協力が必須です。わが国の少子化傾向に対して私たち小児医療従事者にできることは限られているかも知れません。しかし生を受けた子どもたちが肉体的な疾病を患ったときのみならず、心や精神を病んだときにも強力なサポーターになってあげたいという気持ちを込めて、本学術集会のメインテーマを「すべては子どものために ～ All For the Children～」と致しました。

詳細につきましては、機関誌『小児保健研究』および、日本小児保健協会ホームページ、第64回日本小児保健協会学術集会ホームページ(<http://www2.convention.co.jp/64jsch/index.html>)にて随時お知らせいたします。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

謹白

記

1. 会 期：2017年6月29日(木)～7月1日(土)
2. 会 場：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)  
(〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号)
3. テー マ：すべては子どものために ～ All For the Children～
4. 主 題(予定)：
  - ①特別講演1  
(1) テーマ：米国の発達障害児支援(仮)  
(2) 演 者：Martin Stein  
(UCSD University of California, San Diego)  
※同時通訳あり
  - ②特別講演2  
(1) テーマ：米国の小児科エキスパートナースの役割(仮)  
(2) 演 者：Mary E. Caffery (UCSD University of California, San Diego)  
※同時通訳あり
  - ③特別講演3  
(1) テーマ：米国における小児癌患者の心のケア(仮)  
(2) 演 者：土屋 信子 (Chicago Children's Hospital)
5. 一般演題募集期間(予定)：2017年1月11日(水)～2月25日(土)